

To Our Shareholders ~株主の皆さまへ ...P1

ファン・ホール・メーカーに満足いただける
情報インフラを構築し、ブランド力を高めることで
企業価値の増大をはかります。

ダイコク電機最前線 **Fade in** ...P3

- DK-SISセミナー全国で開催
- ノムラ資産管理フェア2005にブースを出展
- 携帯電話・PCサイト
「データロボ サイトセブン」がスタート
- セグメント別の状況 ...P5





代表取締役社長 栢森雅勝

●当中間期の経営成績

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格が継続して高騰しているものの、企業業績の改善を背景に設備投資の拡大、輸出、生産の増加等により、景気は緩やかな回復の兆しが見られます。しかしながら、税・社会保障費負担増等の先行き不安感も残っており、雇用環境も依然厳しさがあることから、個人消費の本格的な改善には至っておりません。

当社が携わるパチンコ業界におきましては、遊技人口の減少に歯止めがかかったように思われるものの、依然として低調な数値のまま推移しております。また、昨年7月の新規則施行によりパチンコ遊技機の多様化が進み、遊技機の活用いかにパチンコホールの優劣が一層顕著になりつつあります。

このような状況のもと、当中間連結会計期間の業績は、売上高229億円、営業利益31億70百万円、経常利益33億39百万円、中間純利益16億85百万円となりました。

ファン・ホール・メーカーに満足いただける情報インフラを構築し、ブランド力を高めることで企業価値の増大をはかります。

●事業別の課題と取り組み

<情報システム事業>

ホールコンピューティングシステム「C」による「DKトータルネットワークシステム」の構築

パチンコファン・パチンコホール・当社を結ぶネットワークを充実させ、質の高いサービスを提供し続けるため、ホールコンピューティングシステム「C」をさらに強化してまいります。特に、多様化するパチンコファンの要求に対応する情報提供システム、パチンコホールに対する営業支援システムを強化します。

ホールコンピューティングシステム「C」と「DK-SIS」の融合によるさらなるブランド力向上

時代の変化を素早く敏感に察知し、ホール経営向上を実現するため、ホールコンピューティングシステム「C」とパチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」の融合コンテンツを充実させることにより、パチンコホールに対し、新たな提案型営業をしてまいります。

メンテナンス体制の改革

顧客に、より質の高い保守サービスを提供することにより、安心感と信頼関係を強固にするため、新しいメンテナンス体制を構築してまいります。

<制御システム事業>

開発力強化による機種数の増大

研究開発チームの新設と表参道デザインスタジオのさらなる体制強化により、開発力と提案力を高め開発機種数の増大をはかります。

研究開発チームでは、製品優位性を打ち出し、新素材・新技術を駆使した新しいスペックや機構の研究に取り組みます。また、表参道デザインスタジオでは、人員体制の強化と業務提携によるメリットを最大限に生かし、開発スピードの向上と開発機種数の増大をはかります。

新規顧客の開拓

パチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」や情報システム事業との連携を強化することでブランド力を向上さ

せ、提案力を高めてまいります。そのような当社の強みを生かした機種開発の提案を新規顧客獲得に向け積極的にまいります。

顧客から信頼される製造・物流体制の構築

製品の安定した品質、適正な価格、要求に合った納期を実現することによって、安心・安全・信頼で競合他社との差別化をはかります。

●通期の見通し

わが国経済は、緩やかな回復基調が続く一方、個人消費は依然低迷しております。

パチンコ業界も個人消費の低迷により厳しい状況が続いております。パチンコホールではバラエティに富んだ多様なパチンコ遊技機(新基準機)の管理や遊技台情報活用によるパチンコファンの集客がますます重要な課題となっており、その成否によって企業間格差はさらに顕著になりつつあります。

情報システム事業においては、遊技台のデータ分析機能が優れている当社ホールコンピューティングシステム「C」やパチンコ・パチスロファン向けに遊技台情報を公開する台間取付表示装置プレジャービジョンやパチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」等が評価され、下期も堅調に推移するものと見込まれるため、通期の売上高を278億50百万円と見込んでおります。

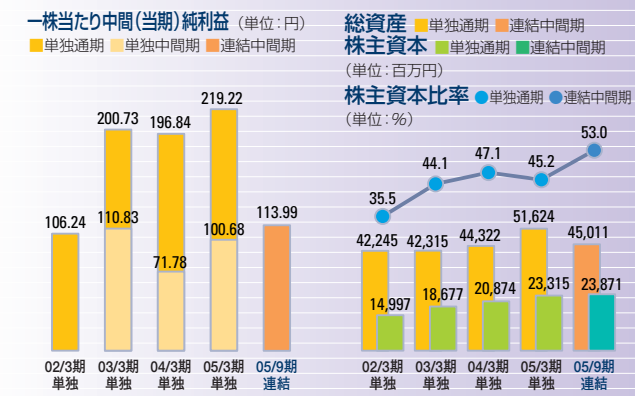
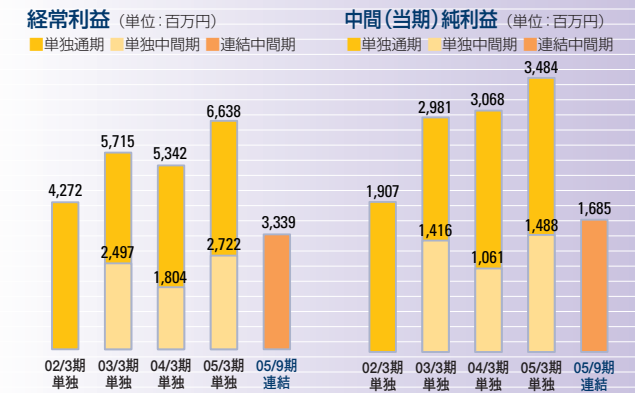
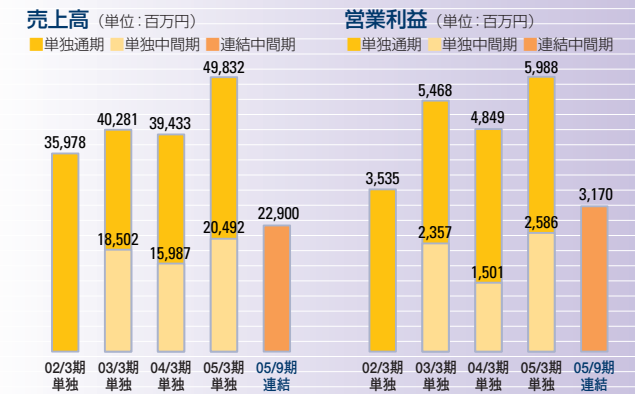
一方、制御システム事業においては、下期も堅調に推移するものと見込まれますが、前期のようなヒット機種が想定できないため、通期の売上高を210億円と見込んでおります。

この結果、2006年3月期の通期連結業績見通しは、売上高488億50百万円、経常利益61億円、当期純利益31億50百万円となりました。

通期の見通しに関する注意事項

本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがって、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

主要財務データ……………Key Financial Data



DK-SISセミナー 全国で開催



2005年6月より、パチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」の新コンテンツ「平日・土日祝データ」を活用したパチンコホールオーナー向けのセミナーを全国13ヶ所で開催いたしました。テーマは「平日・土日戦略」。今まで仮説でしかお伝えできなかった戦略を、新コンテンツにより、実績データを基にした検証が可能となりました。

パチンコ業界の現況は新基準機の登場以来、遊技機の射幸性や遊技性の幅が広がりを見せていますが、機種毎の業績が以前よりも二極化するという弊害が生じており、業績の店舗間格差もさらに広がってきています。

このようななかで、新しい切り口を提案するDK-SISセミナーに当初の予想をはるかに上回るオーナーの方々が参加され、セミナー後のアンケートからは、今回のセミナーが自店の戦略を見直すきっかけになったという感想も数多く寄せられました。今後も市場の変化に敏感に対応し、最もタイムリーな内容のセミナーを全国展開してまいります。



携帯電話・PCサイトの 「パチンコNOW」が 「データロボ サイトセブン」に リニューアル



10月より当社会社のDIXEO株式会社が運営しております携帯電話・PCサイト『パチンコNOW』の名称を「データロボ サイトセブン」に変更いたしました。

『データロボ サイトセブン』は、全国約1,300店舗の大当たりデータや新台入替・イベント情報など、勝利につながる情報が満載のファンサイトです。

新メニューとして、市販のパチンコ雑誌等にも多数掲載されております「大当たり発生履歴分布データ」も追加いたしました。また、10月1日より、スカパー! Ch.754「全日本パチンコ・パチスロ情報局!」が、「パチ・スロ サイトセブンTV」として新たにスタートしました。PCサイトでも映像を配信しています。(※映像は、有料コンテンツになります。)

そして10月13日からは、i-mode・EZweb・VodafoneLive!に続く、第4の携帯電話公式サイト『Yahoo!コンテンツストア』にて『データロボ サイトセブンY』サービスを追加しました。(※一部有料 月額315円(税込)携帯電話のみのサービスです。)

アクセス方法: <http://fan.d-deltanet.com/y/>

今後もファンの皆さまに、よりご満足いただけるサービスとコンテンツの充実を目指してまいりますので『データロボ サイトセブン』を是非ご活用ください。

パチスロ サイトセブンTV
SITE SEVEN TV



ノムラ資産管理フェア2005に ブースを出展



9月9日(金)・10日(土)の2日間、名古屋国際会議場で開催された「東海三県ノムラ資産管理フェア2005」にブース出展をおこないました。

東海地区の一般投資家を対象に上場企業各社の概況を知ってもらい投資を促そうという催しで、出展企業は93社、評論家の竹村健一氏やストラテジストのリチャード・クー氏など著名人の講演会もあり、さらに最近の株式市場の活況や個人投資家の増加を追い風に、両日で2万人を超える来場者がありました。



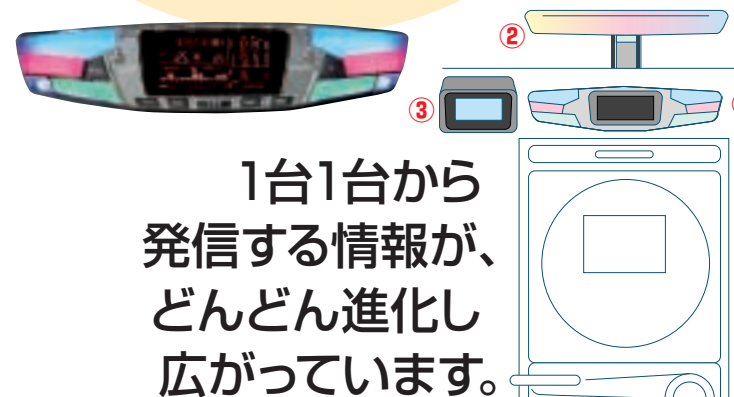
当社ブースにおきましても昨年実績の1.6倍以上、合計で3,601名もの投資家の皆さまからアンケートの協力をいただきました。

ご来場いただきました大勢の投資家の皆さま、ありがとうございました。引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

New Products 新製品情報

① ロボパートナー IL-90C II

「ロボパートナー IL-90C II」は、これまでの概念を超えた上品な光演出や、文字情報を伝えるテロップ表示を搭載した全く新しいタイプの呼出ランプです。16色マルチLEDによる多彩な光演出は、ホール内の雰囲気グレードアップします。テロップ表示では、イベント告知などの簡易メッセージを流したり、自分が遊技している台の大当たり回数や出玉数等の達成演出以外に、他人の台の達成も告知され、自然に遊技台への期待感が高まります。また、テロップに機種毎のスペックを紹介することで、新基準機による遊技方法の複雑化が進むなか、安心して遊技できる環境をつくりだせます。



1台1台から
発信する情報が、
どんどん進化し
広がっています。

② 台毎トップランプ DATA-IRIS

これまでのトップランプの常識を打ち破った新製品「DATA-IRIS」は、新基準機最大の魅力である「確変継続回数」を搭載したトップランプです。その存在感は近隣台のプレイヤーだけでなく、台やコーナー遊びをしているファンにも印象付けます。そして大きく広げた両翼から繰り広げられる多彩なイルミネーションは、ホール内を美しく優雅に演出します。

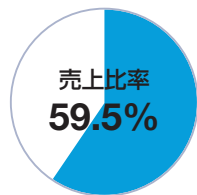


③ 台毎インフォメーション INFO-CUBE

プレイヤーは様々な情報を求めています。高確率ゾーンは? 天井ゲーム数は? 一発逆転機種なのか? 初期投資は高いのか低いのか? ...等、さまざまなゲーム性、さらには新基準機の多様なゲーム性により未知の台に対する不安は募るばかりです。「INFO-CUBE」はそんな不安を解消し、ランプでは表現できない「もっと楽しく遊べる情報やメッセージ」等を提供することで、遊技台のおもしろさを倍増させ、ホールの稼動にも貢献する製品です。

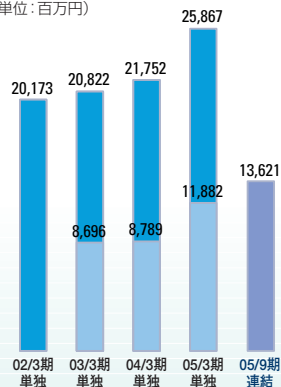


情報システム事業



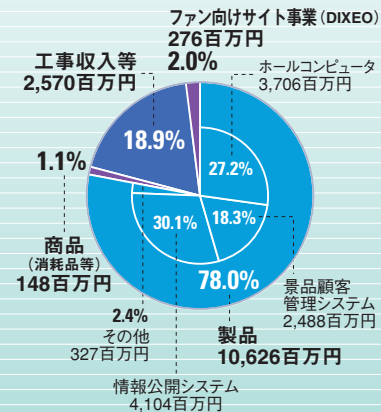
●情報システム事業売上高

■単独通期 ■単独中間期 ■連結中間期
(単位:百万円)



●情報システム事業売上高構成比

(百万円未満は切捨て)



平成16年7月の新規則施行以来パチンコ遊技機の多様化が進み、客先であるパチンコホールは緻密な遊技機管理と、パチンコファンへの遊技機情報提供の重要性が増してきました。パチンコホールの遊技台管理についてはホールコンピューティングシステム「C」とパチンコホール向け会員制情報提供サービス「DK-SIS」により精度を高めることと、管理者が迅速かつ確に判断できる管理データの提供を実現することで、パチンコホールより高い評価を得ました。

パチンコファンへの遊技台情報提供については、パチンコファンの来店時や遊技中での遊技台情報取得要求を満たすために、いち早くトレンドを察知し、情報提供に関する製品展開に注力してまいりました。それを具現化する製品として従来品を進化させた新プレジャービジョンPV-55Ⅱやインフォメーションマルチを新製品として提案し、従来からのデータ表示機能付き呼出ランプ IL-90Cdash・スクエアロボを含め、情報公開機器の販売促進をおこなってまいりました。

その結果、売上高は136億21百万円、営業利益30億21百万円となりました。



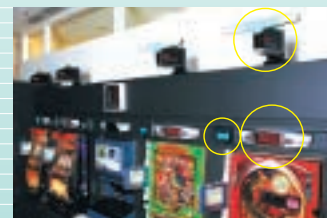
パチンコホール向け
会員制情報提供サービス「DK-SIS」

当社ホールコンピュータとインターネットを駆使し、SIS会員パチンコホールとダイコク電機との間に高度なネットワークを構築し、日々の営業データを収集し、分析、加工後、付加価値の高い情報を提供する顧客支援システムです。

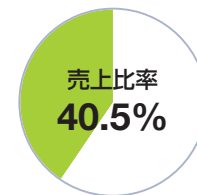
プレジャービジョン PV-55(R)Ⅱ

ファンが求める情報とファンに伝えたい情報を効果的に結びつけた新しい情報公開ツール。サンド型のタッチパネルLCDで、過去のデータから本日のデータまで出玉推移グラフや大当り発生履歴、ベスト台データなどグレードアップした多彩なデータが見られます。

●情報公開システム新製品ラインナップ

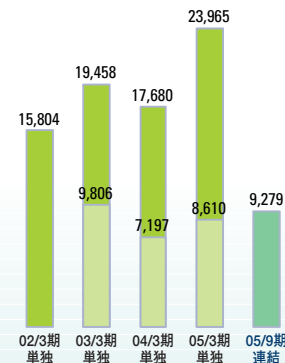


制御システム事業



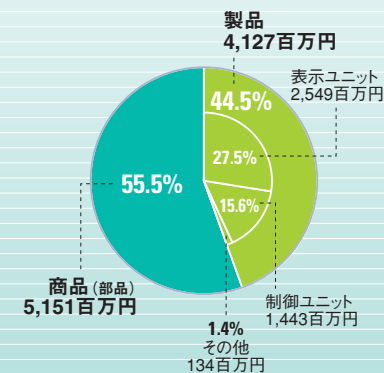
●制御システム事業売上高

■単独通期 ■単独中間期 ■連結中間期
(単位:百万円)



●制御システム事業売上高構成比

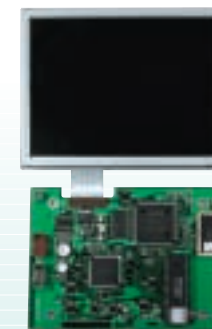
(百万円未満は切捨て)



当中間連結会計期間における遊技機市場は、平成16年7月の新規則施行により、それまで画一的であったパチンコ遊技機においてバリエーション豊かな機種開発が可能になりましたが、市場のニーズに合わせて、開発途中のパチンコ遊技機の仕様が見直されることもあって開発期間が長引き、市場に投入される機種数は減少しました。

このような市場環境のなか、当事業部門は新基準機の開発において新たな企画の提案をおこない、製品の品質は向上しております。しかし、市場への投入機種数の減少により、制御ユニットは7.8万台(前年同期比1.8%減)、表示ユニットは12.7万台(同20.1%減)と出荷数量で前年同期実績を下回ったものの、液晶パネルの販売が好調だった商品販売においては、51億51百万円と順調に推移しました。

その結果、売上高は92億79百万円、営業利益12億35百万円となりました。



表示ユニット

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



制御ユニット

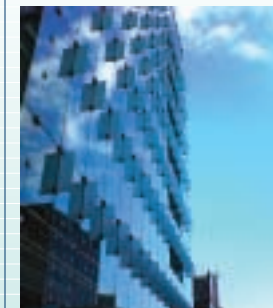
基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。



商品 (部品)

パチンコ遊技機に使用される液晶パネル、スイッチ、ソレノイドなどのオートメーションパーツの仕入販売をしております。

●表参道デザインスタジオ



▲開発風景

中間連結貸借対照表 (要旨)

科 目	当中間期 2005年9月30日現在
資産の部	
流動資産	27,418
固定資産	17,593
有形固定資産	7,771
無形固定資産	1,614
投資その他の資産	8,207
資産合計	45,011
負債の部	
流動負債	17,723
固定負債	3,416
負債合計	21,140
資本の部	
資本金	674
資本剰余金	680
利益剰余金	22,509
その他有価証券評価差額金	8
自己株式	△ 0
資本合計	23,871
負債・資本合計	45,011

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

中間連結損益計算書 (要旨)

科 目	当中間期 2005年4月 1日から 2005年9月30日まで
売上高	22,900
売上原価	14,966
売上総利益	7,934
販売費及び一般管理費	4,763
営業利益	3,170
営業外収益	245
営業外費用	75
経常利益	3,339
特別利益	16
特別損失	569
税金等調整前中間純利益	2,786
法人税、住民税及び事業税	1,326
法人税等調整額	△ 225
中間純利益	1,685

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

中間連結剰余金計算書 (要旨)

科 目	当中間期 2005年4月 1日から 2005年9月30日まで
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	680
資本剰余金中間期末残高	680
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	21,955
利益剰余金増加高	1,685
利益剰余金減少高	1,130
利益剰余金中間期末残高	22,509

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	当中間期 2005年4月 1日から 2005年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 1,260
現金及び現金同等物の期首残高	13,493
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,233

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

中間貸借対照表 (要旨)

科 目	当中間期 2005年9月30日現在	前中間期 2004年9月30日現在	前期 2005年3月31日現在
資産の部			
流動資産	27,219	26,545	34,192
固定資産	17,688	16,306	17,431
有形固定資産	7,753	7,868	7,961
無形固定資産	1,602	1,705	1,838
投資その他の資産	8,332	6,732	7,631
資産合計	44,907	42,852	51,624
負債の部			
流動負債	17,667	16,270	24,761
固定負債	3,419	5,116	3,546
負債合計	21,086	21,386	28,308
資本の部			
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	22,459	20,106	21,955
その他有価証券評価差額金	8	4	6
自己株式	△ 0	—	△ 0
資本合計	23,821	21,465	23,315
負債・資本合計	44,907	42,852	51,624

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

●資産・負債・資本の状況

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して投資その他の資産が増加したにもかかわらず、現預金および売上債権の減少等により67億16百万円減少の449億7百万円となりました。

負債は、前事業年度末と比較して仕入債務及び未払法人税等の減少等により72億22百万円減少の210億86百万円となりました。

株主資本は、前事業年度末と比較して利益剰余金の増加により5億5百万円増加の238億21百万円となり株主資本比率も53.0%となりました。

中間損益計算書 (要旨)

科 目	当中間期 2005年4月 1日から 2005年9月30日まで	前中間期 2004年4月 1日から 2004年9月30日まで	前期 2004年4月 1日から 2005年3月31日まで
売上高	22,624	20,492	49,832
売上原価	14,957	13,181	33,315
売上総利益	7,667	7,311	16,517
販売費及び一般管理費	4,621	4,724	10,528
営業利益	3,045	2,586	5,988
営業外収益	270	216	814
営業外費用	75	80	164
経常利益	3,239	2,722	6,638
特別利益	30	—	—
特別損失	569	360	511
税引前中間(当期)純利益	2,700	2,362	6,126
法人税、住民税及び事業税	1,280	1,030	3,196
法人税等調整額	△ 215	△ 156	△ 554
中間(当期)純利益	1,635	1,488	3,484
前期繰越利益	1,776	1,562	1,562
中間配当額	—	—	147
中間(当期)未処分利益	3,411	3,050	4,899

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

●損益の状況

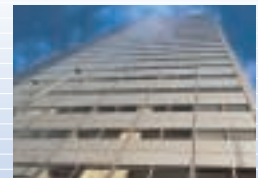
当中間会計期間における売上高は、情報システム事業において情報公開システムの販売が好調に推移したこと、制御システム事業において液晶パネルの商品売上が増大したことにより、前中間会計期間に比較して21億31百万円増加の226億24百万円となりました。これにより営業利益、経常利益は前中間会計期間に比較しそれぞれ4億58百万円、5億16百万円増加の30億45百万円、32億39百万円となりました。

当中間会計期間より「固定資産の減損に係る会計基準」を適用しており、これにより特別損失に5億18百万円計上し、中間純利益は16億35百万円となりました。

(2005年9月30日現在)

●商号	ダイコク電機株式会社 DAIKOKU DENKI CO., LTD.
●創業	1964年12月
●設立	1973年 7月
●資本金	6億7千4百万円(発行済株式総数14,783,900株)
●本社	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階
●従業員数	(単体)406名 (連結)412名
●事業内容	パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売 パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売
●役員	取締役会長 小山 晴 久 代表取締役社長 栢 森 雅 勝 代表取締役副社長 栢 森 秀 行 代表取締役専務 栢 森 健 健 常務取締役 岩 根 節 雄 取締役 香 川 芳 夫 取締役 伊 藤 茂 年 取締役 平 原 正 義 取締役 山 下 陽 取締役 堀 本 弘 取締役 堀 田 昌 郎 取締役 國 保 徳 丸 常勤監査役 山 崎 健 二 郎 常勤監査役 伊 東 幹 夫 監査役 田 中 正 雄 監査役 敷 田 稔 監査役 村 橋 泰 志

(注) 1. 取締役 堀田昌郎氏、國保徳丸氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役 田中正雄氏、敷田稔氏、村橋泰志氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。



本社



本部事業所

●事業所一覧

本 社	〒450-8640	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階 TEL(052)581-7111(代表)
本部事業所	〒480-0395	春日井市坂下町1丁目875 TEL(0568)88-7111
高蔵寺事業所	〒487-0014	春日井市気噴町一丁目2番地 TEL(0568)51-7111
春日井事業所	〒480-0304	春日井市神屋町1番26 TEL(0568)88-7771

●拠点一覧

北日本支店	〒980-0014	仙台市青葉区本町二丁目2番3号 鹿島広業ビル
・札幌営業所	〒001-0011	札幌市北区北十一条西四丁目1番地44 ベルエアプラザ
・盛岡出張所	〒020-0135	盛岡市新町6番35号 アイビル大新町
関東支店	〒110-0005	東京都台東区上野七丁目2番10号 上野駅前第一生命ビル
・茨城営業所	〒305-0032	つくば市竹園二丁目2番地4 第2・ISSEIビル
・北関東営業所	〒330-6022	さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心L.A.タワー
・新潟出張所	〒950-0925	新潟市弁天橋通1丁目2番39号 VMビルディング
中部支店	〒480-0304	春日井市神屋町1番26
・金沢出張所	〒920-0027	金沢市駅西新町3丁目9番26号
・松本出張所	〒390-0852	松本市大字島立399番地1 滴水ビル
西日本支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪北ビル
・岡山営業所	〒700-0927	岡山市西古松一丁目1番26号 オム第Ⅱビル
・高松出張所	〒761-8071	高松市伏石町795番地1 丸忠Ⅲビル
九州支店	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南二丁目1番9号 ヤマエ博多駅南ビル
・広島営業所	〒731-0138	広島市安佐南区祇園3丁目45番11号
・宮崎出張所	〒880-0801	宮崎市老松一丁目3番3号 松屋ビル
表参道デザインスタジオ	〒107-0061	東京都港区北青山三丁目3番11号 ルネ青山ビル

●関連会社

DIXEO(ディクセオ)株式会社
株式会社ラビス

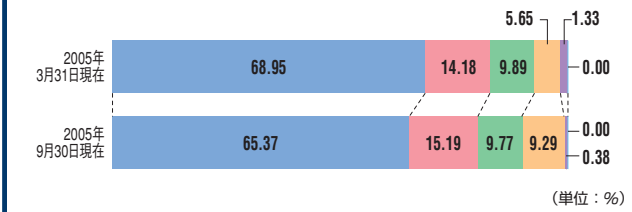
(2005年9月30日現在)

●株式状況

会社が発行する株式の総数	66,747,000株
発行済株式総数	14,783,900株
株主数	2,598名

●所有者別株式分布状況

	2005年9月30日現在		2005年3月31日現在	
■個人・その他	9,664,550株	2,427名	10,193,400株	3,348名
■金融機関	2,244,804株	36名	2,096,100株	35名
■その他国内法人	1,444,800株	67名	1,463,500株	87名
■外国人	1,373,596株	46名	834,700株	38名
■証券会社	56,060株	21名	196,110株	22名
■自己名義株式	90株	1名	90株	1名
合計	14,783,900株	2,598名	14,783,900株	3,531名



●持株数別株式分布状況

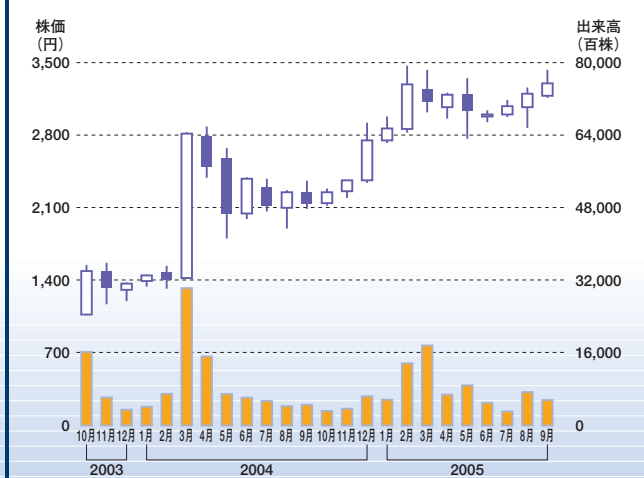
	2005年9月30日現在		2005年3月31日現在	
1単元未満	110株	2名	110株	3名
1単元以上5単元未満	271,354株	1,653名	378,500株	2,292名
5単元以上10単元未満	154,200株	265名	213,700株	367名
10単元以上50単元未満	865,946株	538名	1,136,400株	716名
50単元以上100単元未満	322,550株	47名	340,950株	53名
100単元以上500単元未満	1,386,450株	67名	1,367,150株	72名
500単元以上1,000単元未満	416,700株	7名	586,400株	9名
1,000単元以上5,000単元未満	2,154,000株	10名	1,744,800株	9名
5,000単元以上	9,212,500株	8名	9,014,800株	8名
合計	14,783,810株	2,597名	14,782,810株	3,529名

(注) 1. 2005年9月30日現在の持株数別株式分布状況には、自己名義株式1名90株を含んでおりません。
2. 2005年3月31日現在の持株数別株式分布状況には、証券保管振替機構名義株式1名1,000株、自己名義株式1名90株を含んでおりません。

●大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
栢森 雅勝	1,915,450	12.95
栢森 秀行	1,802,400	12.19
栢森 健	1,800,800	12.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	868,200	5.87
財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 新治	737,150	4.98
栢森 隆	712,500	4.81
栢森 美智子	626,000	4.23
ダイコク電機従業員持株会	418,400	2.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	401,300	2.71
ザチースマンハッタンバンクエリートソシエトルムコ(スアカウト)	336,500	2.27
シーエーアイエスバンクルクセンブルグクライアント アカウト	193,000	1.30
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505019	175,600	1.18
株式会社みずほ銀行	150,000	1.01
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	129,200	0.87
ジェーピーモルガン チェースバンク 385043	121,800	0.82
野村信託銀行株式会社(投信口)	118,200	0.79
株式会社UFJ銀行	110,000	0.74
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	73,800	0.49
ザ チェース マンハッタン バンク 380560	67,600	0.45

●株価及び出来高の推移



株主メモ

- **決算期** 3月31日
- **定時株主総会** 6月下旬
- **配当金受領株主確定日** 利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- **基準日** 3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- **名義書換代理人** 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
TEL. (052)262-1520
- **同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
- **公告掲載新聞** 日本経済新聞
- **貸借対照表ならびに損益計算書の
ホームページアドレス** <http://www.daikoku.co.jp/investor/kessan.html>

〈お知らせ〉

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。



〒450-8640 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階
TEL (052) 581-7111 (代表)
ホームページ <http://www.daikoku.co.jp>